

第10回

青梅市総合長期計画審議会

会議録（概要版）

日時 令和4年9月30日（金）午後1時
場所 青梅市役所議会棟3階大会議室

第10回青梅市総合長期計画審議会議事日程

日 時 令和4年9月30日(金) 午後1時00分～3時20分

場 所 青梅市役所議会棟3階大会議室

- 1 市長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
(1) 第7次青梅市総合長期計画基本構想・基本計画素案について
- 4 その他
(1) 今後のスケジュールについて
(2) その他
- 5 閉会

.....

出席者	委員	望月友美子	委員	和田孝	委員
		栗原久美子	委員	伊藤武夫	委員
		沼倉智弓	委員	松井勉	委員
		儘田菜つ美	委員	宇津木憲一郎	委員
		宮口泉	委員	三竹直哉	委員
		杉田真衣	委員(リモート参加)		
		鬼塚睦子	委員(リモート参加)		
欠席者	委員	中村洋介	委員	中島由美	委員

青梅市長 浜中啓一

副市長 小山高義

教育長 橋本雅幸

事務局 企画部長 伊藤英彦 企画政策課長 野村正明

午後1時開会

.....

1 市長あいさつ

【事務局】

開会に先立ち、浜中市長からごあいさつを申し上げます。

【市長】

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、第10回青梅市総合長期計画審議会にご出席いただき大変ありがとうございます。本審議会にて、様々なご意見をいただきながら策定作業を進めてまいりました第7次青梅市総合長期計画も、いよいよ最終段階を迎えてきたものと実感しております。

この中にも今後の施策として記載してございますが、市役所に来なくても、いつでもどこでも市の手続きができるように、市民の利便性向上と同時に職員の業務改善を図っていきたいと考えております。すでに市役所1階のロビーにマイナンバーカードの交付やマイナポイントに関する特設会場を設けていることにお気づきかと思えます。マイナンバーカードの普及につきましては、国が令和4年度末までに、ほぼ全国民に行き渡ることを目指すとの方針を掲げており、青梅市におきましてもより多くの市民にマイナンバーカードの取得をしていただくよう取り組みを進めているところであります。マイナンバーカードの普及が大切なのはもちろんのこと、行政手続きのオンライン化などが進み、市民サービス向上につながる大きな目的と認識しております。これからの10年は、市民サービスの向上だけでなく、市の業務そのものが変革をするものと捉えております。

本日もまさにこれからの10年の計画となります、第7次青梅市総合長期計画の策定に向け、皆様方のご意見を幅広くよろしくお願ひしたいと思っております。本日もよろしくお願ひ申し上げます。

.....

2 会長あいさつ

【事務局】

それでは、和田会長からごあいさつをいただき、その後の進行につきまして、よろしくお願ひいたします。

【会長】

第10回青梅市総合長期計画審議会を始めさせていただきます。昨年からはまりましたこの審議会、本日で10回目を迎えるということで、本日を含め、あと2回となります。この間、委員の皆さんから色々なご意見をいただき審議を進めてまいりました。毎回事務局がつくっていただく計画案を見ていると、私たちの意見を非常に細かく取り入れていただき、毎回新しい改訂が進められていたり、あるいは発言の要旨を汲み取っていただくような、そういう作業をしていただき、このように私たちの審議がまとめられていくんだなということを見てきました。一方では、色々なご意見がすべてこの中に盛り込まれているというわけでもございませんし、

高所からのご意見や具体的なご意見などすべてが網羅されているかということ、そういうことでもないようです。

今日、会議の後半にご提案させていただきたいと思っておりますが、この中に盛り込まれなかった私たちの意見を、市長や市に別のかたちで届けていただくようなことをお願いしたいと思っております。今日は審議としてはまとめの会議になりますけれども、積極的なご意見を出していただき、長期計画がより良いものになるようにご協力いただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 協議事項

(1) 第7次青梅市総合長期計画基本構想・基本計画素案について

【会長】

第7次青梅市総合長期計画基本構想・基本計画素案について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料1をご覧いただきたいと存じます。こちらにつきましては、前回の審議会におきまして、基本計画におきます8つの分野ごとのそれぞれ10年後に施策が目指す姿や現状と課題、施策の方向性等を説明させていただき、委員の皆様方から頂戴したご意見、ご指摘等を踏まえ修正を加えるとともに、庁内関係部署への確認、理事者調整を行い9月15日に開催されました、全員協議会に報告させていただきました。それまでにいただいたご意見等に基づき再度取りまとめをさせていただいたものでございます。

20ページ、21ページをご覧いただきますと(5)財政運営がございますが、今後の建設事業など大きな経費を可能な限り算入していくため、現段階で記載されておりません。大変申し訳ございませんが10月の中旬ごろを目途に、改めて委員の皆様方には追って送付させていただく予定でありますので、ご了承いただければと存じます。なお、こちらに記載を予定しております数字につきましては、基本計画にも記載があります東青梅1丁目地内への市民ホール等複合化施設の建設事業をはじめ、青梅インターチェンジ北側の区画整理事業など大規模な事業経費を見込むとともに、資産価値として保有している建物等の構造物等につきましてはの額も勘案して作成をしていく予定でございます。

本日の審議会でございますが、全体を通してお気づきの点など、さらなるご意見をいただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【会長】

本日の資料はこれまでの審議会でも積み重ねてきた議論の内容や、その他様々な意見を取りまとめて作られてきたもので、まだ修正の余地はあるということですが、最終系にかなり近づいていると思います。なかなか意見を出しにくいところもあるかと思いますが、最後の意見を述べる機会でもありますので、計画案全体を見てのご意見や感想など発言いただければと思

ます。

それでは第7次青梅市総合長期計画基本構想・基本計画素案について、ご意見、ご質問をいただきたいと思います。今回も全委員の方から1回ずつ発言いただき、後ほど意見を踏まえて、さらにご発言がある方には機会を設けますので、まずはご準備いただいたご意見、ご感想を出していただきたいと思います。

【委員】

メールで提出した意見について、可能な限り反映していただいていると感じました。

新たな意見というのはなく、感想めいたこととして、96ページには世界という言葉を入れていただきいいなと思いました。各所の「施策が目指す姿」が魅力的になっていて、こうなったらいいなと思いました。

104ページにも「世界水準の持続可能な観光地づくりが進められている」とあり、世界という言葉が入ってきておりいいなと思いました。

また、平和と人権のところを組み替えていただき、非常にすっきりしたと思います。

【委員】

前回の「1-1-3」と「1-1-4」が統合され、新たに「1-1-3 「歩く」健康づくりの推進」となり、記載内容もより具体的になりよい見直しだと思います。こうした傾向はこの項目に限らず、ほかの施策の方向性でも適切かつ具体的に見直されていると感じました。例えば「3-5 ゼロカーボンシティに向けたまちづくりの推進」についても、施策の方向性の内容も具体的になりイメージしやすくなったと思います。また、「6-1 基盤産業の振興と地域内企業の活性化」の施策の方向性も具体的になり、それぞれの施策の横のつながりができまして、一貫性やストーリー性を感じられるようになったと思います。

35ページ「1-3-4 生活困窮者等支援の充実」の記載内容ですが、「潜在的な困窮状態の方実態を」は「潜在的な困窮状態の方の実態を」かと思います。

69ページ■共通する視点の「多様な働き方・住環境への態様」は「多様な働き方・住環境への対応」かと思います。

75ページ「4-4-5 歩行者にやさしい道路空間の構築」の名称ですが、「歩行者と自転車利用者にもやさしい道路空間の構築」にしてはと思います。理由としては、ゼロカーボンシティや防犯・交通安全対策のところでも自転車の利用促進を謳っておりますので、その自転車が走る道路整備の施策の中にも入れるべきだと思います。そうすることで施策の一貫性を保つべきだと思います。

89ページ「5-3-6 地域における生涯学習の場の創出」の文章「市内公共施設を活用するとともに」は「市内公共施設を活用するとともに」だと思います。

90ページの右側が【スポーツ実施率の推移】のグラフになっており、前回の【スポーツ施設利用者数】よりも実態を表しているいいと思います。ただ、スポーツ実施率の定義が分かりづらいので注記を記載してはどうかと思います。

116ページの「7-5 平和・多文化共生社会の実現」は、前回の意見が反映され、読んでいて収まりが良いと感じました。

117ページ「7-5-4 外国にルーツをもつ子どもに対する支援の充実」と表現が変わっており、今の実態に合っており、多様性の観点からもよい見直しだと感じました。また、「7-6 国内外における交流活動の推進」も「5 伝統・文化・生涯学習」から移動された今回のほうが収まりが良いと感じました。

【委員】

一市民としては、前のほうを一生懸命読むと思います。特に12・13ページ「5 まちづくりの背景と課題の整理」は、分かりやすい表になっており、ここに目が留まると思います。私たちが目指す青梅市が、分かりやすく具現化できるようなイラストなどがあるといいと思いました。紙面構成として何かポイントになるような工夫があるといいと思います。若い人たちは4コマ漫画に対する反応がいいので取り入れてもいいと思います。

「2 子ども・若者・教育・子育て」が「2-1 子ども・若者支援の充実」から始まっているのはすっきりしていいと思いました。

75ページ「4-4-5 歩行者にやさしい道路空間の構築」について、ベビーカーに優しくない道路ということを感じています。ここにベビーカーも入れていただけたらと思います。また、小中学生がキックボードに乗っている姿をよく見かけます。都心では電動キックボードが問題になっており、今キックボードに乗っている子どもたちが10年後大人になった時に、そのまま移行する可能性もあるので、文言として入ってもいいのかなと感じました。

【委員】

10ページ「4 時代潮流」でエネルギー問題や安全保障の問題に触れていないので、その辺どうなんでしょうかと思っています。どこかに入れられるなら入れていただけたらと思います。

「2-3 多様な主体による学校運営の推進」に【コミュニティ・スクールとは】の図などありますが、ますます充実していただきたいと思います。学校運営連絡協議会が何年か続いていると形式的に陥っている部分も無きにしも非ずと感じましたので、外部評価も入れながら学校改革が進む方法を考えることができればと思います。

「5-1 歴史・文化の継承・活用」に「文化財の活用・保存」、「伝統文化の周知、発信の充実」などがあり、地域人材にも触れていますが、まだまだ地域に色々な分野に詳しい方がいるので、そういった人をリストアップして有効的に活用することも大事だと思います。

「7-1 様々な地域コミュニティ活動の活性化支援」の現状と課題に「青梅市自治会連合会と連携基本協定を締結し、毎年情報交換を行い、連合会との協働により、住民がともに支え合い」とありますが、もっと声高に言ってもいいのかなと思います。

【委員】

よくまとまっているので、多くの市民に読んでもらいたいと思いますが、子ども達には分かりづらいと思うので、子ども向けに内容をまとめたものをぜひ作っていただきたい。

また、それぞれのページに用語の説明が入っており、ありがたく感じました。

104ページ「6-6 美しい山と渓谷を収益につなげる観光の推進」の現状と課題に「飲食・物販における地産地消と高付加価値化に取り組み」とありますが、「高付加価値化」と一言で言ってもわからないので、「飲食・物販における地産地消と“体験プログラムの充実など”の高付加価値化に取り組み」のように一言入れていただけると分かりやすくなると思いました。

【委員】

介護について、国の方向性に準じてやっていくと思いますが、青梅なりの青梅モデルのような介護システムみたいな力強いものがあってもいいかなと思いました。

「5-3 多様な生涯学習の推進」の「5-3-5 図書館の充実・活用促進」について、中央図書館によく行きますが、駐車場がなく車が停められないです。今後、高齢者が多くなった時に、コミュニティバスで図書館を巡回するなど移動手段の確保も重要だと思います。

目指す姿の達成度合いはどのように測り、市民はどこで確認できるのかと疑問に思いました。一般市民の税金で進めていくので誰でも達成度合いが見えるようになっていたほうがいいと思います。

【事務局】

達成度合いにつきましては、毎年施策の方向性の取り組み状況など全庁調査を行い、PDCAサイクルに基づきチェックしながら、市議会やホームページ等で公表していきます。

また、学校教育にも活用していただけるよう、イラストや写真を用いて子どもたちにも分かりやすい概要版の作成を考えています。さらに可能であれば動画でも見ていただけるものができればと考えています。

【委員】

一般の方が分かるようなかたちにしていただければと思います。

【事務局】

131ページの「計画の推進にあたって」に口頭でご説明した部分を入れるようにしたいと思います。

【委員】

16ページに「あそぼうよ！青梅」の注釈が入り分かりやすくなったと思います。

以前は「5-2-4」に文化振興条例の制定を検討するとありましたが、「5-2-3 文化活動拠点の整備・文化振興」に統合されたのかなと思います。1点分からないのが、文化振興条例の制定と文化施策の指針や考え方を表した憲章等を制定することは内容が変わってくるのでしょうか。

【事務局】

法令としては違いますが、考え方を明文化して市から表明するという意味では、憲章、指針、条例でもスタンスは変わらないと捉えています。

【委員】

10年後に目指す姿がぶれないようにスタンスを明示していただければと思います。

【委員】

第6次青梅市総合長期計画の農業・林業では、ウメ輪紋ウイルスについて記載されています。2016年から再植栽が始まり、一昨年あたりから梅の量も増えてきています。観光面では、今年の梅まつりには約2万人来ましたが、全盛期の30万人に近づけないといけない。そうした中、今回梅についてほとんど謳われていないです。「6-5 稼げる農林業の推進」に“梅”について入れていただけたらと思います。また、「6-6 美しい山と渓谷を収益につなげる観光の推進」の「6-6-4 持続可能な観光地づくりの推進」にも、魅力ある梅の里として梅の公園等の環境の充実を図るといったことを記載していただきたいです。

81ページ「4-7-3 防犯・交通安全施設、設備の整備」にカードレールとありますが、ガードレールの間違いかと思えます。

98ページ「6-3 商業の活性化による地域内消費の向上」の現状と課題に「全国的に著名な「吉野梅郷」に立地する商店街等」とありますが、書きすぎかと思えますので検討していただきたいと思えます。

【委員】

115ページの関連する個別計画に「青梅市ジェンダー平等推進計画（現：青梅市男女平等推進計画）」とありますが、名称を変える予定なのか教えていただきたいです。

【事務局】

現行計画が今年度末までとなっており、現在改定作業です。その中で名称を改める話になっています。

【委員】

いいことだと思います。そうであれば「7-4 ジェンダー平等の推進」の現状と課題の「男女平等意識の醸成」を「ジェンダー平等意識の醸成」にしてもいいのではと思います。

「7-3 人権擁護の推進」の関連するSDGsには「16 平和と公正」だけではなく、「5 ジェンダー平等」や「10 不平等」も入れてもいいと思いました。

112ページ現状と課題に「あらゆる人権侵害は、人々の命と財産を奪い、心を深く傷つけます。」とありますが、「あらゆる人権侵害は、心を深く傷つけ、人々から命を奪うことすらあります。」としてもいいのかなと思いました。「財産を奪い」はなくはないと思いますが、何を想定しているか分かりづらいと思えます。

「2-4 家庭・地域の教育力の向上」の施策が目指す姿の「みんなで育て」がいいなと思っていますが、読んでみるとまずは家庭がちゃんとしなさいという論調が強めかと思えます。もう少しみんなでという部分があるといいと思いました。

43ページ「2-1-2 子ども・若者の居場所づくり」に大型児童センターの設置とありますが、これはどういったものですか。パブリックコメントでは児童館がないという意見がありましたが、児童館とは違うものになるのですか。

【事務局】

児童館と大型児童センターの違いですが、法律に基づき一定の面積を超えると児童館の機能を有していても、大型児童センターということが出来ます。広めの児童館というイメージを思っただけだと存じます。

【委員】

SDGsのマークや言葉の説明が入り分かりやすくなったと思います。

95ページ「共通する視点」の脱炭素にフロンが記載されていますが、アスベストの回収も視野に入れていただけると嬉しいと思います。

【副会長】

政策評価の視点はどうするのか。数値目標が掲げられていないので、どのように評価するのか難しいと思います。

5ページに人口割合が出ていますが、昼間人口、夜間人口はどうなっているか気になります。データがありましたら補足していただければと思います。

7ページ右側のグラフで、5番目に市民に期待されている「地震や災害に強い安全なまち」に対する記載が弱いと思います。もう少しどこかに打ち出せるといいかなと思います。

「1-1 生涯にわたる健康づくりの推進」の関連するSDGsに「3健康と福祉」がありますが、福祉は広い概念になるので、ほかの施策にも該当するものがあるのではと思います。後ほど「3健康と福祉」があってもいいかなという箇所をご指摘させていただきます。

健康寿命日本一のまちを10年後に実現できるかについては、ほかの自治体でも事例があり、指標化できるものなので、皆で力を合わせて実現できるかと思います。

健診（検診）が色々なところに出てきますが、健診と検診はまったく概念が違いますので、健診・検診としていただきたいと思います。

生活習慣病予防は非常に大事です。フレイルの段階だと後戻りができますので、30ページに「生活習慣病予防とフレイル予防」と記載していただけるとピンとくると思います。同じく高齢者福祉にもフレイルが入ると健康寿命日本一を目指せるのかなと思いました。

31ページに「働く人の健康づくり」という項目がないので、ここに入れていただくか1項目つくっていただくのも大事だと思います。それと、前回まではありましたが「食料安全保障」というキーワードが消えたので、復活できるのであれば農林か防災のところに入れていただければと思います。また、「1-1」と「1-2」は別項目になっていますが、予防医療というキーワードをどこかに入れていただけるといいなと思います。

33ページ「共通する視点」のデジタル化にPHR（パーソナルヘルスレコード）というキーワードを入れていただけるといいかなと思います。

36ページ「1-4 高齢者福祉の充実」に先ほどのフレイル予防を入れていただけたらと思います。もしかしたら37ページ「1-4-1 生きがいづくり・介護予防の推進」あたりがフレイル予防にあたるかなと思いました。

49ページの家庭地域の教育力について、家庭内の格差は健康状況ともつながるので、SDGsの「3健康と福祉」と「10不平等」を追加していただけたらと思います。

53ページ「2-6 子育て環境の充実」について、子どもを育てることはSDGsの「3健康と福祉」につながると思いました。

57ページ森林の適正管理ですが、森林セラピーなどがあるのでSDGsの「3健康と福祉」を入れていただきたい。同じように59ページにも「3健康と福祉」があったらと思います。

64ページ「3-5 ゼロカーボンシティに向けたまちづくりの推進」の施策が目指す姿が「-ゼロカーボンと健康増進を両立するまち-」になっていますので、SDGsの「3健康と福祉」は欠かせないと思います。

75ページでは先ほどベビーカーの話もありましたが、車椅子なども入ってくると思います。障がいの有無や赤ちゃんなど関係なしに好きなところに行ける道路ができるといいと思います。それが歩いて暮らせるまちづくり、好きなところに行けるまちづくりになると思うので、SDGsの「3健康と福祉」が関係すると思います。

85ページは文化のところになりますが、こじつけると色々調べたり触れていくと脳の活性化につながるので、SDGsの「3健康と福祉」かなと思います。文化と健康は一体で心の健康にもつながるので、飛躍するようですが87・89ページにもSDGsの「3健康と福祉」が入るといいかなと思います。

90・91ページ「5-4 スポーツ環境づくりの推進」には、ラフティングも入れていただけるといいかなと思います。

95・96ページあたりに働く人の健康づくり、健康経営を盛り込んでいただけたらと思います。

98ページ「6-3 商業の活性化による地域内消費の向上」については、商店街がないというのがネックになっており、それをマルシェのかたちで実現しようとしている方たちがいるので、マルシェという言葉があってもいいかなと思います。

103ページに食料安全保障を入れていただけたらと思います。もし入るのであれば、食べることは健康につながるのでSDGsの「3健康と福祉」を追加していただきたい。

105ページでは、市民や観光客の足の確保が大事だと思います。公共交通機関でどこでも行けると記載されていますが、観光客が好きなところに行けるのは重要だと思います。青梅に足繁く通っていただく、あるいは少しでも長い時間留まっていただくということで、いつそのこと観光地に住むという発想もあっていいと思いました。

109ページでは、ソーシャルキャピタルが健康にすごく関係があることが分かっていますので、SDGsの「3健康と福祉」に関わると思います。

健康は基本的人権の一つになりますので、113ページにSDGsの「3健康と福祉」を入れていただきたいです。

女性に対する健康格差があるので、ジェンダー平等も同じくSDGsの「3健康と福祉」を

入れていただきたいです。

119ページも人々につながることはSDGsの「3健康と福祉」につながると思います。

【会長】

今回の総合長期計画は、生活の手引書のようなものになっているなという思いがします。生活する中で様々な課題があると理解した上で、どのように解決していくかということがページをめくると分野ごとに記載されていると思います。計画といいながら活用しやすいかたちになっていると思いました。

12・13ページは分かりやすいと思いますが、13ページの真ん中に緑の丸があり、説明がないとつながりが分かりづらいと思います。内容的には問題ないので分かりやすい見方ができるといいと思います。

16ページに青梅の目指している姿が記載されていますが、黒文字ばかりで地味に感じます。キーワードがたくさん出ているので目立つようにしてどうかなと思っています。また、「あそぼうよ！青梅」が基本理念の文章に入っていますが、大事なキーワードであれば、基本理念の横などに「あそぼうよ！青梅」を取り出して、下の文章に説明を加えると意味合いが分かってくるかなと思いました。また、基本理念の下の3つの「まち」ももう少し目立つかたちにして、何を目指しているか視覚的にも出てくるといいと思います。

41ページ「2 子ども・若者・教育・子育て」の10年後に目指す姿に学校というキーワードが出てきていない。学校も変わっていくので、2つ目の丸あたりに「学校や地域ぐるみで応援する」というような学校教育をイメージさせる言葉があるといいと思います。

ここだけではありませんが、例として43ページを見ると、色々な施策が示されている中、活動主体や運営主体が何をするのか示されている表現と、活動主体や組織、体制が記載されておらず、何をするかだけ記載されているところがあります。具体的に進めるのであれば、どこがどのように進めていくか文章の中に入れてほしいと思います。

「2-2 子どもが自ら未来を切り拓く学校教育の充実」をみると、ここだけではないですが、現状と課題に「学校施設の老朽化が深刻な状況となっており」と記載されていますが、それに対してどうするのかという施策が見えてこないです。今後検討されるのだと思いますが、避けて通れない問題なので、取り組んでいかないといつまでも放置されてしまうと思います。また、45ページについて、これから学校は自由度の高い教育になってくると思います。その時に小中一貫にすることによって、教育課程の中身が重複した内容を削除しながら新しい教育に取り組む機会が出てきます。しかし、小中一貫教育に踏み出すような表現が欠けていると思います。

46ページの「2-3 多様な主体による学校運営の推進」のタイトルですが、多様な主体というのは、1つ目は地域の参画、2つ目は包括的な委託、3つ目は企業や団体など様々な主体が中心になって学校を設置していこうという動きがあります。この3つを合わせて多様な主体による学校運営と言いますが、青梅市では民間的なところが学校を組み立てることを想定していると思えないので、「地域参画による学校運営」程度に収めたほうがよかったのかなという感

じがしています。施策を見ても「多様な主体による学校運営」は言い過ぎかなという気もします。

45ページにSTEAM教育の注釈がありますが、2行目「倫理等を含めた広い範囲でAを定義し」の“A”はこのままでいいですか。“A”はアーツのことだと思いましたが、基本的な学芸や教養という言葉になると思いますが、意識してこうしているのか、文字が足りないのか。

また、85ページにメタバースの活用が記載されていますが、教育とは違う部分になりますので、活用について説明があってもいいかなと思いました。

誤植だと思いますが、88ページの現状と課題1つ目の丸「参加者は多数ものの」は確認していただきたいです。

89ページの「5-3-3」や「5-3-4」は、中身はこれでいいと思いますが、表題が抽象的なだけに、かみ砕いて説明されたほうが分かりやすいかなと思います。

私からは以上になりますが、さらにご意見等ありましたら、この後個々にご意見を伺っていきたいと思います。事務局から今までの意見で何かありますか。

【事務局】

ご意見いただいた箇所につきましては、真摯に受け止め訂正するところは訂正いたします。

また、関連するSDGsにつきましては、17のゴールから細分化したところ等々も照らし合わせて、適切なアイコンの表示に努めてまいります。

タイトルにつきましても可能な限り訂正する点は訂正したいと考えています。

【会長】

では、もう少し発言を加えたいという方おりましたらお願いします。

【委員】

各項目や施策に担当部署を入れることはできないのかなと思いました。市民が見た時に、施策を見てどこに相談すればいいか分かれると便利だと思います。

計画を多くの方に見ていただくために、ポスターのようなものを作る予定はないのかなと思いました。イメージに合うポスターを作り、それが各所に貼ってあるといいと思います。

終わりに近づいている中で、次のことを考えてもいいのかなと思います。長期計画の策定は法律の義務から外れており、自治体が自由にやればいいはずだと思います。例えばビジョンやイメージをつくる部分と、個別計画に横ぐしを入れて総合的な総合計画をつくる部分は別に扱ってもいいのではという気がします。ビジョンは小学生からシニアの方まで、様々なワークショップを繰り返すことで1枚の絵のようなものをつくっていくなど、文章のかたちにするのではない、新しいやり方でもいいのかなという印象をもちました。

計画書の最後にある、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と長期計画はどのような関係にありますか。

【事務局】

1点目、担当部署の記載につきましては、10年計画であることや来年度組織改正があり、

組織が数年で見直しされるため、長期的な視点で見た時に辛いという部分が実情としてはあります。

2点目、ポスターにつきましては、周知に係る掲出物は考えられると思います。

3点目、総合長期計画は法律に基づく策定ではなくなりましたが、市の最上位計画に位置づくものとして、市議会の議案として上程し、議決をいただく案件というところは青梅市の条例上変わっていません。ただ、今までのやり方にとらわれず、新しいやり方にチャレンジしていいと考えています。

4点目、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、人口減少・少子高齢化という構造的課題に対し、政府一体となって取り組むため、内閣にまち・ひと・しごと創生本部がつくられ、全国の市町村に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をつくるよう指示があり、青梅市でも策定しました。しかし、この考え方や理念、盛り込むべき内容というのが、総合長期計画とリンクする部分がありました。現在、第2期改訂版を別冊でもっていますが、この状態は活動しやすいのかと考えた時に、リンクする部分があるのであれば、見直しを行い総合長期計画に盛り込みましょうということで、取り組もうとしております。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」推進のため、外部委員で構成される懇談会があり、外部の有識者からご意見をいただきながら、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂させていただき、総合長期計画の後ろに入れようと考えております。

【委員】

東京都子ども基本条例が令和3年4月1日から施行されています。「2 子ども・若者・教育・子育て」はこれを踏まえた内容になっていると感じますので、東京都子ども基本条例が基になっているという文言があるとインパクトがあるのかなと思います。

総合病院が西多摩の医療圏の拠点になると記載されていますが、今年の3月に小児科学会が医療における子ども憲章を提唱しています。小さな子どもを育てている親にこれを見せると、すごく安心すると仰っています。子どもが病気になる不安を抱えている中で、安心して受けることができる医療の現場があることや、子ども憲章に則った医療機関があることは安心につながると実感しています、この部分を入れていただけると嬉しいなと思いました。

「2-4 家庭・地域の教育力の向上」の現状と課題に「家庭は全ての教育の出発点であり」と記載されており、これはそのとおりだと思いますが、コロナの影響も大きい中、それだけでは補えないというものを感じています。家庭が全てと言い切ってしまうことに違和感があったので感想としてお伝えいたします。

【委員】

「2-1-1 子どもが主役のまちづくり」のタイトルについて、子どもが主役というとピラミッド型を思い浮かべてしまうので、例えば「子どもが真ん中のまちづくり」など、主役、サブ役ではなく、子どもを真ん中にして皆が平等にまちづくりとしたほうがいいと思いました。

「5-2 文化活動の振興」は、考え方が文化団体や芸術文化に偏っていると感じます。文化

は日常の文化も保障されるべきだと思いますので、「5-2-2 文化団体の支援」は団体だけではなく、「5-2-2 文化活動の支援」のようになるといいと思います。

【委員】

第6次青梅市総合長期計画では、1ページを割いて市の「鳥」「花」「木」を入れていましたが、第7次青梅市総合長期計画ではどうする予定ですか。

【事務局】

現行計画では市民憲章から始まり市長のあいさつへと続いています。色々な掲載方法があり、市民憲章や市の「鳥」「花」「木」を最初にもってくる方法も考えられます。いずれにしても最終的に冊子にする段階で、バランスなどを見ながら検討したいと考えております。現時点で入れないと決めているわけではございません。

【会長】

23ページ「共通する視点とは・・・」の図の矢印の先に、右側の説明文の中のキーワードや目指す社会のあり方など、何か文言があったほうがいいのではと思っています。

【副会長】

23ページ「共通する視点とは・・・」の図の矢印は、上下逆転したほうがいいのではと思いました。

【事務局】

ご指摘のとおりだと思います。ご意見を踏まえて再度整理いたします。

【委員】

青梅市では自治会の加入にかかわらず、全市民にゴミカレンダーを配布していますが、現在は自治会が弱体化しており、配る人数より配られる人数のほうが多く大変だとよく聞きます。加入率が上がらないのは、加入してもしなくても生活に影響がないからだと思います。スマイルカードはありますが、あまり効果が出ていないので、スーパーなどに拡大して、日常生活にお得感が出るようなものにしていきたいと考えています。現在、連合会に加入している自治会は168自治会、世帯数は24,211世帯、加入率38～39%となっています。

青梅の未来を明るく語っても、現実はどういった状態なので何とかしたいと考えています。地域コミュニティの活性化は計画書では後ろにきていますが、かなり大事な部分だと思います。

【会長】

それではよろしければ協議事項を終了させていただければと思います。事務局におかれましては、各委員からいただいた意見を踏まえ、答申案の作成をお願いしたいと思います。

4 その他

【会長】

今後のスケジュールについて、事務局からお願いします。

【事務局】

まず、11月2日に市議会におきまして全員協議会を開催していただき、さらなる改訂を加えた計画案の説明をさせていただきたいと考えています。そこでご意見、ご指摘等をいただいた後に、次回の審議会を11月9日（水）午後開催させていただきたいと考えています。こちらでのご意見を踏まえ、事務局で最終的な基本構想・基本計画の案を取りまとめさせていただき、11月中旬に答申をさせていただきたいと考えております。この答申を基に本年12月市議会に第7次青梅市総合長期計画基本構想・基本計画を議案として上程させていただき、市議会においてご審議を賜りたいと考えてございます。

【会長】

事務局から説明いただいたスケジュールを踏まえ、2点ほど委員の皆様にご相談、お願いをさせていただきたいと思っております。

まず、1点目ですが、次回の審議会にて我々全員で最終点検を行い、議論の後の最終的な取りまとめは会長、副会長にご一任いただければと思っております。

もう1点ですが、これまでこの審議会の場で大変多くのご意見をいただきましたが、意見の中には、具体的な事業レベルのものやより大きな方向性を示したもの、全体のバランスを考えながら整理した計画案への掲載が難しいものなど、すべてが計画案に盛り込まれているわけではないです。こうしたことを踏まえ、審議会に出された意見を計画の推進に生かしていただけるよう、私たちの意見を別の資料として市長に受け取っていただきたいと思います。

この2点についてご承知おきいただければと思っておりますが、よろしいでしょうか。

（意見なし）

それでは、そのように進めさせていただきたいと思っております。ご質問などありますか。

【委員】

別資料の作成は賛成ですが、その資料は議会に提案する際にもくっつけるのですか。

【事務局】

議案としては、基本構想・基本計画の案となりますので、参考意見につきましては、市長がお預かりさせていただき、議会への提出は考えておりません。

【会長】

それでは、以上で本日の議事について終了いたします。最後に閉会のごあいさつを望月副会長からお願いいたします。

【副会長】

昨年から皆さんと審議会を楽しませていただきました。楽しむということは「あそぼうよ！青梅」につながるのかなと考えています。

先日「楽しむことは、なぜより健康的な生活なのか」というテーマの動画を見つけたので、内容を少し紹介させていただきます。楽しむということの感覚として「遊び心」「つながり」「流れ」というのがあり、フローという言葉がありますが、時間を忘れてしまうほど夢中にな

っている状態のことを言うそうです。これを見てこれかと思いました。これは青梅で大人も子どもも、どんな方でも実現できるのではと思いました。それと楽しいということは結果ではなく原因であるということも言っていて、楽しいまちであるということは青梅が栄える原因になると思いました。審議会が終わっても、この楽しかった体験を皆に伝えて夢中になれるような、そんなまちになったらいいなと思いました。それと長期的な幸福の秘訣は、毎日の楽しみの瞬間を増やすことだと言っていますので、ぜひ楽しみましょう。

【会長】

それでは、以上で本日は終了いたします。

5 閉会

午後3時20分閉会